第９回町議会定例会

平成24年度 各会計決算など24議案を議決

平成24年度各会計歳入歳出決算等を審議する町議会９月定例会が開会され、提出された24議案すべてが原案のとおり議決されました。ここでは、議会に提出された議案の内容などをお知らせします。

一般会計含む11会計 決算を認定

第５回町議会定例会が９月９日㈪から20日㈮までの12日間の日程で開会されました。今回の９月定例会では前年度各会計の決算が審議され、すべての会計が認定されました。決算の内容は、広報かがみいし11月号でお知らせします。

今回の議会にはその他、鏡石町子ども・子育て会議条例、職員の給与等の臨時特例に関する条例の制定などの議案が議決されました。

平成24年度各会計決算状況

単位：千円

会計区分		歳入	歳出
一般会計		7,700,244	7,196,442
国民健康保険特別会計		1,756,087	1,711,576
後期高齢者医療特別会計		83,587	82,668
介護保険特別会計		797,278	785,342
土地取得事業特別会計		3,004	3,000
工業団地事業特別会計		129,010	126,732
鏡石駅東第１土地区画整理事業特別会計		81,408	80,029
育英資金貸付費特別会計		10,647	10,646
公共下水道事業特別会計		634,342	551,303
農業集落排水事業特別会計		83,357	82,936
小計		11,278,964	10,630,674
上水道事業会計	収益的	234,553	194,642
	資本的	169,508	264,104
	計	404,061	458,746
合計		11,683,025	11,089,420

一般会計補正予算総額は６億５，０５４万１千円

一般会計や８つの特別会計の補正予算が議決され、一般会計は６億５，０５４万１千円増額されました。これにより、一般会計予算の合計は82億３，８７５万３千円となりました。

主な補正予算の内容は、駅前災害対応トイレ新築工事２，４５０万円や災害公営住宅用地取得費９，１４８万９千円などです。

教育委員に常松委員を選任

教育委員会委員として、根本彌生委員が任期満了により退任されることにより、常松洋子さん（本町）が新たに選任されました。常松さんの任期は、平成25年10月１日から４年間です。

常松 洋子 さん（本町）

町長説明要旨

7月30日、東日本大震災の災害復旧への人的支援を受けている群馬県大泉町との災害相互応援協定を本町で締結をし、今後の末永い友好と安心安全なまちづくりを実践していくことを確認しました。

震災復興のシンボル事業として位置づけしている第一小学校校舎改築工事につきましては、順調に工事が進められ9月末で約40％の進捗率となる見込みです。これからは内部の仕上げへと工程が進んでいく予定であり、来年1月末の竣工に向けて、安全第一を信条として工事の進行管理をしていきたいと思います。

原発事故対策としての、一般住宅の除染事業につきましては、仁井田地区の一部の住宅除染業務を発注いたしました。現在、順調に作業が進んでおります。公共施設の除染につきましては、各施設で除染の計画を進めています。

次に、町のブランド・イメージアップ事業としては、電子自治体化推進事業として、ホームページのリニューアル業務の委託業者が決定し11月公開に向けて準備を進めております。

今年度の新規事業としての中学一年生を対象とした英語体験学習事業につきましては、7月8日に天栄村のブリティッシュヒルズで実施し、145名が参加、異文化体験と英語学習への動機付けとして貴重な学習が行われました。

第15回

少年の主張 鏡石町大会

▲小学生の部で最優秀賞を受賞した櫻田 青空くん

今月号では９月号に引き続き、８月３日㈯、町図書館で開催された、第15回少年の主張町大会で最優秀賞を受賞した作品をご紹介します。

夢をかなえる三つのステップ

鏡石一小　六年　櫻田（さくらだ）　青空（あお）くん

夢をもっている世界中の子どもたちに、その夢をかなえて欲しい、というのが、今のぼくの願いです。

この世界には、様々なこどもたちがいます。お金持ちで、何の不自由もなく生活している人もいれば、貧しくて家の手伝いをして生活している人もいます。もちろん、ぼくたちのように毎日学校に通い、普通に暮らしている人もいるでしょう。ぼくは、そんな子どもたち全てに、夢を実現して欲しいと思うのです。

子どものころは、野球の選手になりたい、世界一すごい発明をしてみせる、などと夢をもち、だれもが希望に満ちあふれています。しかし、現実はそんなに甘くはありません。どんなに一生けん命がんばっても結果が出ず、自分の無力さを知ってあきらめてしまうことがほとんどです。そして、時が経つと、夢は、しょせん夢でしかないなどと、あきらめたことを当然のことのように考えてしまうことも少なくありません。ですが、夢をかなえにくい今だからこそ、夢をあきらめないでほしいと強く思うのです。そこで、夢を実現するために役立つ、三つのステップを考えてみました。

一つ目のステップは、目の前にある小さなことから努力を積み重ねるということです。できることから一つずつ努力を重ね、できそうなことやできることを増やしていくことが、夢を引き寄せてくれます。できることをやったって仕方がないと思うかも知れませんが、何度もやってみることで、必ず別の何かにつながります。例えば計算問題で考えてみましょう。今、計算の仕方が分かり、正しく答えを出すことができるとします。何度も練習しているうちに、前よりも速く計算することができるようになります。速く計算ができるようになると、他の人と競って計算してみたくなったり、他の計算でもできるかどうか、自分の力を試してみたくなったりします。このように、自分の可能性を引き出してくれます。

二つ目のステップは、プラス思考で考えるということです。プラス思考というのは、前向きに明るい気持ちで考えるということです。

「がんばったって、どうせ意味がない。」

こんな風に考えて毎日生活していたら、やること全てがむだに思えてきます。それに、投げやりな気持ちで取り組んでいると、本当に結果が悪くなってしまうこともあります。たとえ悪い結果だったとしても、

「よし。次は同じ失敗はしないぞ。これを乗り越えれば、もっと強い自分になれる。」

そう思うことで、失敗は失敗ではなくなり、貴重な経験として、自分を夢へ近づけてくれるはずです。

最後の三つ目のステップは、一番大切なステップです。それは、人とつながるということです。努力を重ねることも、プラス思考で考えることも自分自身ですが、自分だけの力ではどうにもできない問題も起こります。記憶に新しいのは、東日本大震災です。ぼくたち、鏡石第一小学校の校舎は壊れてしまい、勉強をしたくても学校に通うことができませんでした。同じように、野球を続けたくても高校がなくなってしまった高校生、家族を失って生きる希望までも失ってしまった人たちがたくさんいました。それでも、こうして元気に生活することができているのは、支えてくれる人たちがいたからです。一人では乗り越えられないとき、力になってくれるのは、人の力です。支えてくれる家族や友達、先生や名前も知らない世界のだれか。このつながりがあれば、勇気百倍です。

「かなえられない夢なんてない。」

夢をかなえることができないことを、世の中や他人のせいにしていても、何もよくはなりません。夢をつかみとるのは自分自身です。この三つのステップで夢をかなえ、笑顔であふれる未来がやってくると信じています。